

No. 22

令和4年9月7日
東北総合通信局

ICTの活用による地域課題解決に向けたマッチングの実施

－ 地方公共団体が抱えている地域課題を募集 －

東北総合通信局(局長:柳島 智(やなぎしま さとる))では、地方公共団体が抱えている地域課題(人口減少、少子高齢化、地域経済の衰退等)と、企業・大学等が提案する情報通信技術(ICT)の活用による解決案とのマッチングの機会を設けます。

今年度もマッチングを実施するにあたって、地方公共団体が抱えている地域課題を、本日から令和4年10月28日(金)まで募集します。

1 マッチングの趣旨

地方公共団体が抱えている地域課題と企業・大学等が提案するICTの活用による解決案とのマッチングを通じて、地域課題の解決を目指すものです。

マッチングの機会を増やすため、企業・大学等から具体的かつ複数のICTの活用による解決案が提案されるよう、応募いただいた地域課題を公表し、地方公共団体からのプレゼンテーションの場を設けます。

また、マッチングにおいては、地方公共団体と企業・大学等との意見交換や東北総合通信局が助言等を行うことにより、地方公共団体のニーズにカスタマイズされたICTソリューションの導入を支援します。

2 共催

東北情報通信懇談会

3 募集の概要・手続

(1) 募集する地域課題

地方公共団体が抱えている地域課題とし、分野は問いません。分野例は以下のとおりです。

- ア. 教育
- イ. 医療・介護・健康
- ウ. 子育て
- エ. 働き方
- オ. 防災
- カ. 農林水産業
- キ. 地域ビジネス
- ク. 観光
- ケ. 官民協働サービス
- コ. スマートシティ
- サ. IoT基盤

【参考】情報通信活用事例集

東北地域IoT実装「東北事例集」

https://www.soumu.go.jp/main_content/000808283.pdf

(2) 対象者

東北管内の地方公共団体(地方公営企業を含む)

(3) 募集期間

令和4年9月7日(水)から同年10月28日(金)午後3時まで(メール必着)

(4) 応募方法

実施要領(別紙1)に基づき、地域課題応募書類(別紙2「様式1、様式2」)を作成し、「東北情報通信懇談会 地域情報通信委員会事務局」宛に電子メールで提出してください。またその際、メール件名を「令和4年度 地方公共団体の地域課題(地方公共団体名)」にさせていただくとともに、電話にてメール送付した旨をご一報ください。

4 今後のスケジュール

概ね以下のスケジュールとします。

令和4年9月7日(水) : 令和4年度地域課題募集開始
令和4年10月28日(金) : 令和4年度地域課題募集締切り
令和4年12月2日(金) : 応募団体による「地域課題プレゼンテーション」
(Web形式により実施)
プレゼンテーション終了後 : 地域課題に対する企業等からのICTの活用による
解決案の募集開始
令和5年1月上旬 : ICTの活用による解決案募集締切り
令和5年1月中旬～2月 : 地域課題とICTの活用による解決案をマッチング
令和5年3月以降 : フォローアップ

5 問合せ・応募書送付先

総務省 東北総合通信局 情報通信振興課内
東北情報通信懇談会 地域情報通信委員会事務局
担当:佐藤、長尾、高橋
電話:022-221-3655

E-mail: sinkokikaku-toh/atmark/ml.soumu.go.jp

(注)スパムメール防止のため、「@」を「/atmark/」と表記しています。

【別紙1】令和4年度「地域課題解決に向けたマッチング」実施要領

【別紙2】令和4年度「地方公共団体の地域課題」応募書類様式(様式1、様式2)

【参考】ICTの活用による地域課題解決に向けたマッチングの実施

連絡先:東北総合通信局
情報通信部
情報通信振興課
(竹田課長)
TEL 022-221-0708

「ICTの活用による地域課題解決に向けたマッチング」 実施要領

1 目的

地方公共団体が抱えている地域課題（人口減少、少子高齢化、地域経済の衰退、医師不足、災害対応等）を解決する有効な手段の一つとして、様々な分野において情報通信技術（ICT）を活用した取組がなされています。ICTの活用は、新規事業の創出や生産性向上のみならず、交流人口の増加や地域ブランドの向上等による地方創生・地域活性化の手段として期待されています。

これを踏まえ、地方公共団体が抱えている地域課題を募集し、それに対し、ICTソリューションを有する大学・企業等からICTの活用による具体的な解決案の提案をもらい、それらをマッチングするものです。

このマッチングを通じて、地域公共団体のニーズにカスタマイズされたICTソリューションの導入により地域課題の解決を目指します。また、具現化できた導入事例を紹介することで、類似の地域課題を抱えている地方公共団体のICTソリューションの導入に寄与します。

2 募集の概要

（1）募集する地域課題

地方公共団体が抱えている地域課題とし、分野は問いません。

※分野例は以下のとおりです。

- ア. 教育
- イ. 医療・介護・健康
- ウ. 子育て
- エ. 働き方
- オ. 防災
- カ. 農林水産業
- キ. 地域ビジネス
- ク. 観光
- ケ. 官民協働サービス
- コ. スマートシティ
- サ. IoT基盤

（2）対象者

東北管内の地方公共団体（地方公営企業を含む。）とします。

（3）留意事項

- ア「地域課題解決プレゼンテーション」（Web形式）に参加していただきます。
- イ「地域課題解決プレゼンテーション」参加に係る経費（通信費等）は、参加者負担とさせていただきます。

3 募集手続

（1）応募書類

- ア 様式1 令和4年度「地方公共団体の地域課題」応募書

イ 様式2 補足する資料（様式自由）があれば添付してください。

(2) 応募期間

令和4年9月7日（水）から同年10月28日（金）午後3時まで（メール必着）

(3) 応募方法

応募書類（応募書類及びその他の補足資料）は、Microsoft Word、Microsoft PowerPoint等で作成した電子ファイルで提出してください。

(4) 送付先

東北総合通信局情報通信振興課内「東北情報通信懇談会 地域情報通信委員会事務局」宛てに電子メール（件名を「令和4年度 地方公共団体の地域課題」とすること）で送付するとともに、電話で電子メールを送付した旨を一報してください（郵送、持ち込みは不要）。

4 地域課題に対するICTの活用による解決案の募集、マッチングの実施等

地域課題解決プレゼンテーション終了後、企業・大学等からICTの活用による解決案を募集します。その後、地方公共団体と提案された企業・大学等のマッチングを実施します。また、必要に応じて地域情報化アドバイザー制度の活用を助言するなど、地域課題解決に向けてフォローアップします。

5 スケジュール

概ね以下のスケジュールを想定しています。

令和4年9月7日（水）	: 令和4年度地域課題募集開始
令和4年10月28日（金）	: 令和4年度地域課題募集締切り
令和4年12月2日（金）	: 応募団体による「地域課題プレゼンテーション」 (Web形式により実施)
プレゼンテーション終了後	: 地域課題に対する企業等からのICTの活用による 解決案の募集開始
令和5年1月上旬	: ICTの活用による解決案募集締切り
令和5年1月中旬～2月	: 地域課題とICTの活用による解決案をマッチング
令和5年3月以降	: フォローアップ

6 実施要領に関する問合せ先

総務省 東北総合通信局 情報通信振興課内
東北情報通信懇談会 地域情報通信委員会 事務局
担当：佐藤、長尾、高橋
電話：022-221-3655
E-mail：sinkokikaku-toh@ml.soumu.go.jp

[様式 1]

令和 4 年度「地方公共団体の地域課題」応募書（全体概要）

提出日：令和 4 年 月 日

応募者	団体名	※地方公共団体(地方公営企業)の名称を記載		
	代表者名	※首長、理事長等氏名		
	担当者 (所属・ 役職・ 氏名)	電話番号		
		Eメール		
地域課題の概要	分野名	※地方公共団体が抱えている地域課題とし、分野は問いません。 ※(参考)分野例 ①教育②医療・介護・健康③子育て④働き方⑤防災⑥農林水産業⑦地域ビジネス ⑧観光⑨官民協働サービス⑩スマートシティ⑪IoT 基盤		
	該当地域	※「〇〇市全域」、「〇〇市〇〇地区」等と記載		
	地域課題の内容等	※抱えている地域課題を、要約し簡潔に記載してください。 <例-1> ・災害情報の伝達システム ①山間部では、土砂災害の危険、大雨による河川の氾濫 ②沿岸部では高潮や津波など、 住民への緊急情報の伝達手段の整備が急がれている。 <例-2> ・避難者管理システム 新型コロナウイルスの感染拡大で、災害時の避難所運営が難しくなる中、 避難者の体温チェック及び受付処理等を非接触・非対面で行う技術(AI)を活用するなど、要避難支援者の人数把握と職員の負担軽減を図ることが必要。 <例-3> ・行方不明高齢者検索システム 認知症高齢者の徘徊や行方不明が多数発生している現況において、短時間検索、 発見を可能とするシステムが必要。 <例-4> ・マイナンバーカード活用 母子健康情報の分野においては、医療機関や小学校、幼稚園等における健康診断 の結果の情報などが一元的に管理されておらず、市民にとっては一元的な情報を 入手しにくい状況。 <例-5> ・地域資源の観光シェアリング化 地方には魅力ある地域資源がたくさんあるが、観光コンテンツの情報発信に による旅行者の回遊促進、また多言語翻訳ツールを活用した外国人来訪者の創 出が必要。		

注) 1 枚に収めること。

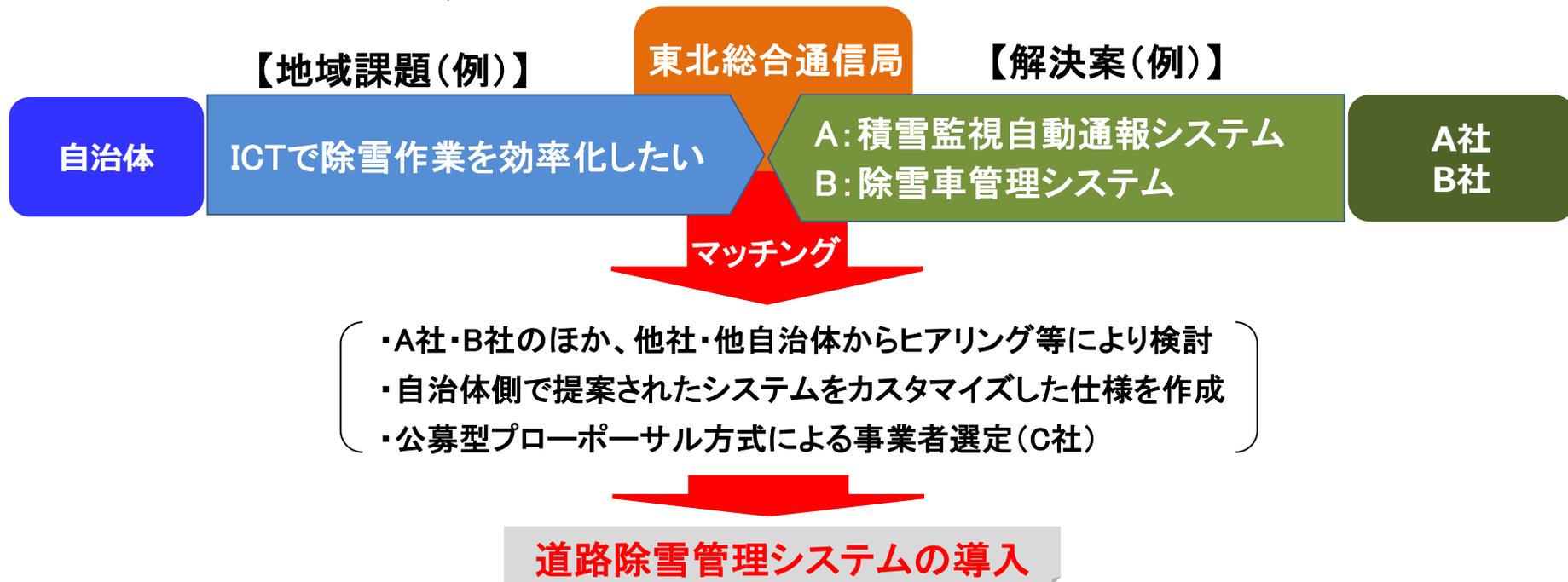
※課題解決のイメージ等図示できるものがあれば提出してください

- ✓ 自治体からICTを活用して解決を希望する地域課題を募り、企業等から当該課題を解決に導くICTソリューションを提案してもらい、それらをマッチングし、実装につなげる。

<マッチングまでのプロセス(予定)>



<マッチングを通じたICT実装事例>



【参考】マッチングを契機としたICT活用の実装事例

道路除雪管理システム(GPS端末を活用した業務効率化)～岩手県金ヶ崎町～

- ✓ 除雪車両に携行したGPS端末の情報を分析・管理するシステムを導入。
- ✓ リアルタイムで 除雪車両位置・作業状況を把握。苦情・問合せへの対応迅速化、除雪請負費の算出や予算管理業務の負担軽減に寄与。除雪作業の各種情報の一元管理により住民サービスが向上。

地域課題 ICTで除雪作業を効率化したい

- 除雪車両の作業場所の把握が負担
苦情や問合せの都度、請負業者に作業状況を電話確認
- 除雪請負費の算出・予算管理事務が負担
 - ・ 請負業者は作業日報を手作業で作成
 - ・ 請負業者からFAXで送付された作業日報を職員がExcelに入力して請負費を算出し、予算を管理

業務効率化

解決策 道路除雪管理システム

- 除雪車両にGPS端末を携行
除雪車両位置情報可視化⇒把握作業軽減
- 除雪作業を分析・管理するシステム導入
GPS端末からの情報を分析し、作業日報を自動で作成・提出。

